

デフリンピック競技 「陸上」



競技紹介

- ・デフリンピックで行われる陸上競技はトラック・フィールド・マラソン。
- ・陸上競技は、走る・投げる・跳ぶタイム・記録を競う競技。
- ・トラック競技用の光刺激スタートシステム(=スタートランプ)があり、「On your marks で赤」「Set で黄色」「ピストルの音と同時に緑色」のランプが光り、スタートを知らせてくれます。



選手紹介



佐々木 琢磨 選手

(ささき たくま)

■過去の実績

第23回夏季デフリンピック競技大会:4×100mR 金メダル
第24回夏季デフリンピック競技大会:100m 金メダル

■見どころや意気込み

陸上競技にはトラックとフィールドの2つがあります。フィールドは特に一般大会の違いがありませんが、トラックではスタートの仕方に注目です!耳がきこえない人はスタートする音が周りの雑音によってきこえなく、集中力がかなり必要で、スタートが遅れてしまうと走りたくない!そんな絶望感を味わってきた人にスタートランプという赤・黄・緑の光を見せてあげる

と「全力でスタートできるし、これなら勝てる!!」音という絶望をぶち破ってくれた最強のスタートランプです。東京2025デフリンピックの100mは絶対に大激戦になると想像できます。鳥肌が立つくらい緊張感を持って応援にきてくれると嬉しいです。絶対に最高の経験を味わえます。



北谷 宏人 選手

(きただに ひろと)

■過去の実績

第24回夏季デフリンピック競技大会:棒高跳 金メダル

■見どころや意気込み

陸上競技は個人種目だと思われがちですが、デフ陸上の選手、スタッフみんな仲が良く、一体となっている部分も魅力です!フィールド(跳躍)では、スタンドとのコミュニケーションで手話が飛び交ったり、拍手の手話が飛び交ったりと目で楽しむことができます!東京2025デフリンピックでは競技を盛り上げるだけではなく、結果を出し日頃より応援していただいている方に恩返しできるようにみんなで頑張ります!



石田 考正 選手

(いしだ たかまさ)

■過去の実績

第23回夏季デフリンピック競技大会:ハンマー投 銅メダル
第24回夏季デフリンピック競技大会:ハンマー投 金メダル

■見どころや意気込み

ハンマー投げ日本人男性選手は3人います。第5回世界デフ選手権大会(2024年)では、金メダル、銀メダル、銅メダル表彰台独占という結果を出しました。東京2025デフリンピックも表彰台を独占します!!盛り上がることは間違いないので、是非ご観戦ください!



一般社団法人日本デフ陸上競技協会



公式
ホームページ



公式
Instagram



公式
Facebook

デフリンピック競技 「バドミントン」



競技紹介

- ・ネット越しにシャトルを打ち合い、得点を競う競技。
- ・1ゲーム21点先取。3ゲームマッチ。2ゲーム先取勝利。
- ・競技種目 男女シングルス、男女ダブルス、混合ダブルス。
- ・シャトルの飛行速度の緩急差が激しく、コート中を素早く動くためのフットワークやジャンプをするプレーも見物です。

選手紹介



永石 泰寛 選手

(ながいし やすひろ)

■過去の実績

第24回夏季デフリンピック

混合団体戦 銀メダル

第6回 世界デフバドミントン選手権大会

混合団体戦 準優勝 男子シングルス 第3位

■見どころや意気込み

ダブルスでは打球音・無音の中でパートナーとの合図をいかに見逃さず、素早く対応できるかが鍵となる競技です。

普段からパートナーの足の運び・パターンを理解しあいながら勝負に挑みます。コートの中を最高の舞台だと思って1球1球に気持ちを込めて、表現できたらと思います。応援よろしくお願いいたします。



矢ヶ部 真衣 選手

(やかべ まい)

■過去の実績

第24回夏季デフリンピック

混合団体戦 銀メダル

第3回 世界デフユースバドミントン選手権大会

女子ダブルス 優勝 混合ダブルス 優勝

第6回 世界デフバドミントン選手権大会

混合団体戦 準優勝

■見どころや意気込み

デフバドミントンは打球音がきこえず、ペアの動きや相手の打つタイミングを様々な工夫で感覚を掴んでいます。手話言語でのコミュニケーションや予想して動き、息の合ったローテーションに注目して下さい!これまでの様々な想いをこの舞台で出し切り、表彰台の1番上に立つことができるように頑張ります!



矢ヶ部 紋可 選手

(やかべ あやか)

■過去の実績

第24回夏季デフリンピック

混合団体戦 銀メダル

第6回 世界デフバドミントン選手権大会

混合団体戦 準優勝

■見どころや意気込み

デフバドミントンの見どころは、試合中の手話言語を使ったコミュニケーションや素早い足さばきです。きこえない分、相手の打ってくる球を予想してワンテンポ早く動くようにしています。

そこに注目して躍動感のある試合を楽しんでください。これまで練習してきた自分を信じて、金メダルを獲得できるよう頑張ります!

一般社団法人日本デフバドミントン協会



公式
ホームページ



公式
Instagram



公式
Facebook

デフリンピック競技 「バスケットボール」



競技紹介

- ・1チーム5人ずつで、パス、ドリブルなどでボールをつなぎ、相手チームのゴールにボールを入れて得点を競う競技。
- ・試合時間は各10分の4クォーター制で計40分。
- ・コートの上に「フラッグマン」と呼ばれるスタッフが待機しており、笛の音やブザーが鳴れば旗を振り、コート上やベンチにいる人に伝える。
- ・競技中は平等性を確保するために補聴器や人工内耳の装着が禁止されてることから、視覚的情報保障として手話言語や筆談、ジェスチャーなどを場面に応じて活用してプレーしています。

選手紹介



若松 優津 選手

(わかまつ ゆず)

■過去の実績

U-14東京都ジュニアオールスター出場選手
インターハイ・ウインターカップ出場選手(2年間)
全日本社会人バスケットボールリーグチャンピオンシップ出場選手

■見どころや意気込み

アグレッシブなディフェンスから流れを作りタフなプレーでチームを鼓舞します!速い展開の中、コートの中の選手とベンチがチーム一丸となり声以外の方法を使って、たくさんのコミュニケーションを取っています!ぜひ注目してください!ボールと足音以外の音がない、静まり返った体育館もデフバスケの魅力です!ぜひ体育館で応援よろしくお願いします!



丸山 香織 選手

(まるやま かおり)

■過去の実績

U-14福井県ジュニアオールスター出場選手
福井県国体出場選手
インターハイ・ウインターカップ出場選手(3年間)
全日本社会人バスケットボールリーグチャンピオンシップ出場選手

■見どころや意気込み

デフバスケは、音に頼らず視覚的なコミュニケーションでプレーするのが特徴です。サインやアイコンタクトを駆使した連携や戦術、無音の中での息の合った動きが見どころです。選手一人ひとりが全力を尽くし、観る人にエネルギーを届けられる試合を目指します。音がなくても心がつながるデフバスケの魅力を、多くの方に感じてもらえたら嬉しいです。応援よろしくお願いします!



加藤 志野 選手

(かとう しの)

■過去の実績

U-13神奈川県ジュニアオールスター出場選手
日本バスケットボール協会関東ブロックU-13エンデバー(選抜)選手
U-14神奈川県ジュニアオールスター出場選手
神奈川県高等学校体育連盟バスケットボール専門部 年間優秀選手(2年間)

■見どころや意気込み

私のプレーでの見どころは長身を活かした点の取り方やリバウンド等でのチームへの貢献です。最近はスリーポイントも上達してきているので是非見て欲しいポイントです。デフバスケ日本代表のチームメイト皆それぞれ個性があるので注目して欲しいです!

特定非営利活動法人日本デフバスケットボール協会



公式
ホームページ



公式
Instagram

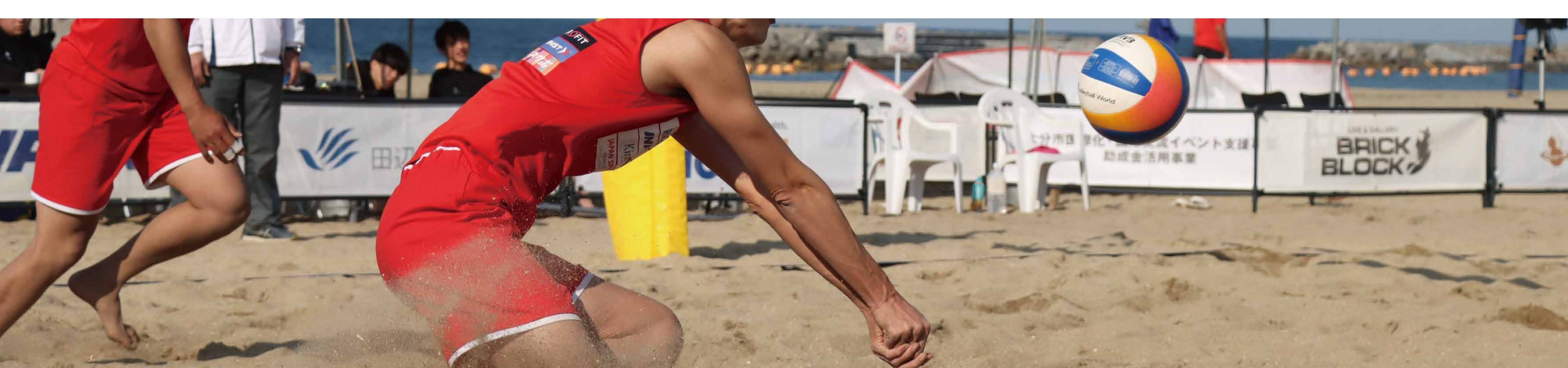


公式
Facebook



公式X

デフリンピック競技 「ビーチバレーボール」



競技紹介

- ・砂の上で、2つのチームがネット越しにボールを打ち合う競技。
- ・3タッチ以内でボールを相手のコートへ返し、ボールが相手のコート内に落ちたら得点。
- ・1セット21点先取のラリーポイント制。
- ・広いコートの中に1チーム2人。足下は砂、風でボールは動くので、強靱なフィジカルや強いメンタル、オフェンス対ディフェンスの絶妙な駆け引き、また風を読み味方にする力も重要となる。

選手紹介



今井 勇太 選手

(いまい ゆうた)

■過去の実績

2021年デフビーチバレーボール世界選手権9位タイ
2022年夏季デフリンピック(ブラジル)13位タイ
2023年デフビーチバレーボールチャンピオンシップ3位

■見どころや意気込み

2人で広いコートの中で攻守するにはチーム内のコミュニケーションが必要です。声でのコミュニケーションが難しい中で、点の取り方や守り方、2人が助け合ってプレーするところを見ていただければと思います。



瀬井 達也 選手

(せい たつや)

■過去の実績

2017年夏季デフリンピック(トルコ) 9位タイ
2022年夏季デフリンピック(ブラジル)13位タイ

■見どころや意気込み

プレー中は声や手話言語でのやり取りは出来ません。事前に取り決めや約束事をして、練習を積み重ねて行くときこえる人とはほぼ変わらないプレーができます。砂の上を動き回る躍動感を是非とも見て下さい!!



境出 ゆきえ 選手

(さかいで ゆきえ)

■過去の実績

2023年デフビーチバレーボールチャンピオンシップ4位
2024年デフビーチバレーボール世界選手権大会
inチェコ・プラハ日本代表選手選考大会 準優勝

■見どころや意気込み

2人のやり取りが非常に大切ですがラリー中は、声でのやり取りが難しいため、練習や大会を積み重ねて息を合わせていきます。常に攻めの気持ちでメダル獲得を目指します!

一般社団法人日本デフビーチバレーボール協会

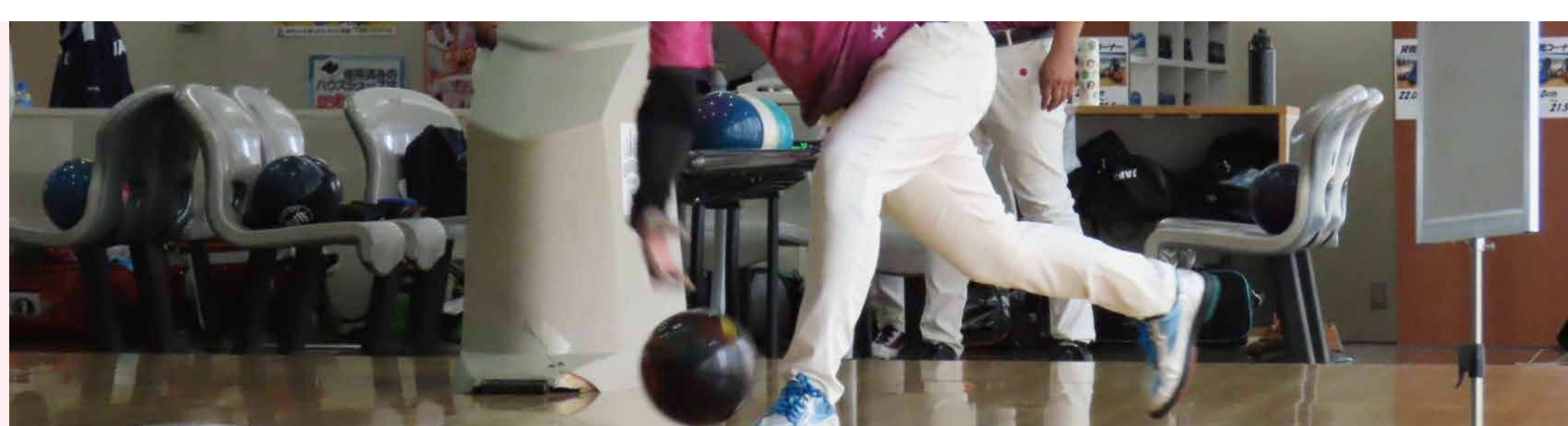


公式
ホームページ



公式
Facebook

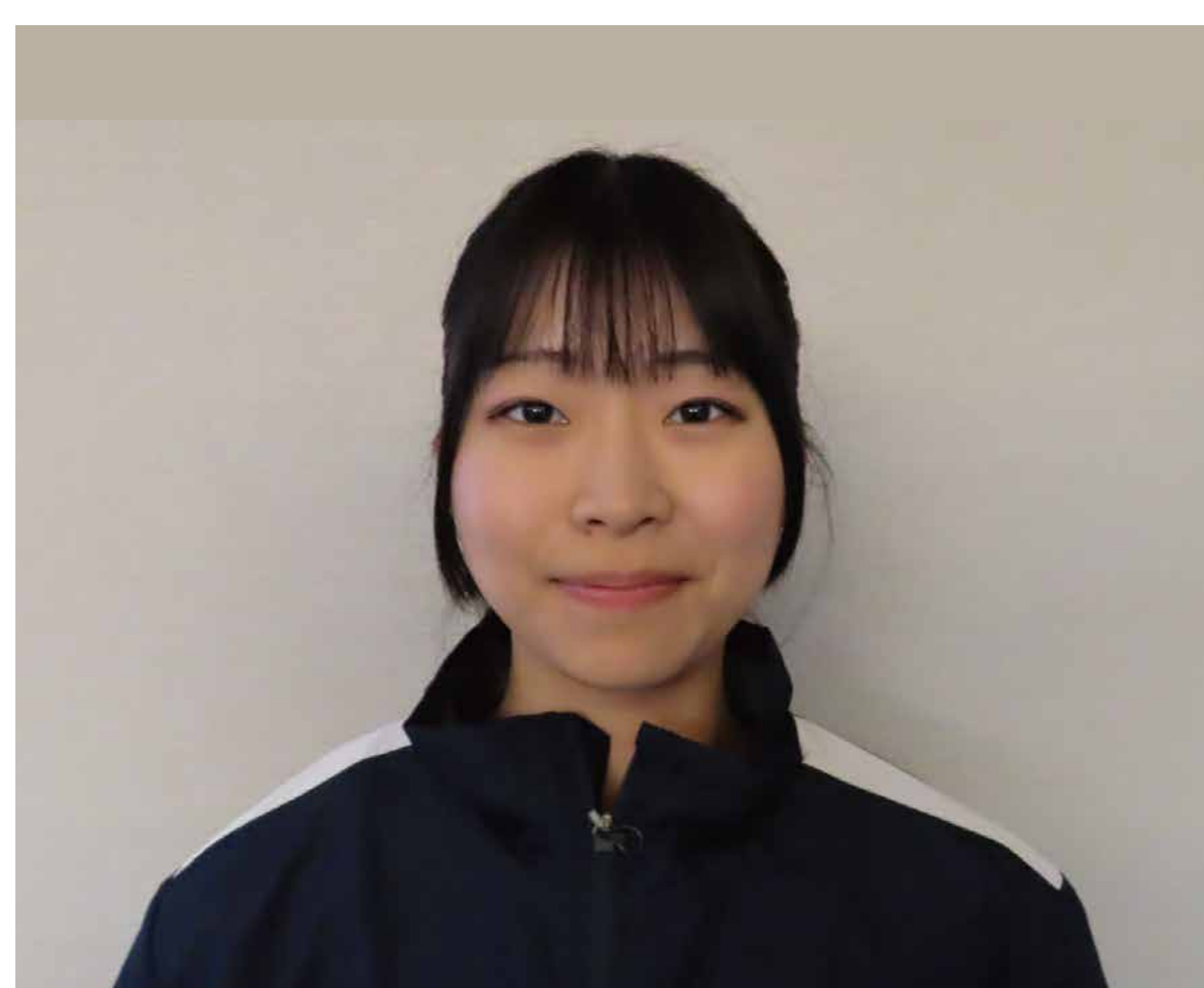
デフリンピック競技 「ボウリング」



競技紹介

- ・正三角形に並べられた10本のピンに向けてボールを転がして、倒れたピンの数を競う競技。
- ・1ゲームは10フレームで構成され、最高得点は300点。個人戦と団体戦がある。
- ・レーン上の油の厚さや広がり方をチーム全員で共有して、コースや投げ方を変化させながら高得点を目指し投球する。

選手紹介



佐藤 杏奈 選手

(さとう あんな)

■過去の実績

2022年、2023年、2024年 全国ろうあ者体育大会
女子個人戦 優勝
2023年 第5回世界デフボウリング選手権大会(ドイツ)
女子団体戦 準優勝、女子トリオ戦 5位入賞

■見どころや意気込み

デフボウリング日本代表の佐藤杏奈です。音楽を聴くのが趣味で櫻坂46とSEKAI NO OWARIが大好きです。2023年、ドイツで開催された世界大会では悔しい思いをしたので、東京デフリンピックでは自分がどれだけ強くなったか、どこまでいけるか思いっきりチャレンジしたいと思います。そして目標は金メダルです。私にボウリングを教えてくれた父に金メダルをかけてあげるのが夢です!



山本 正則 選手

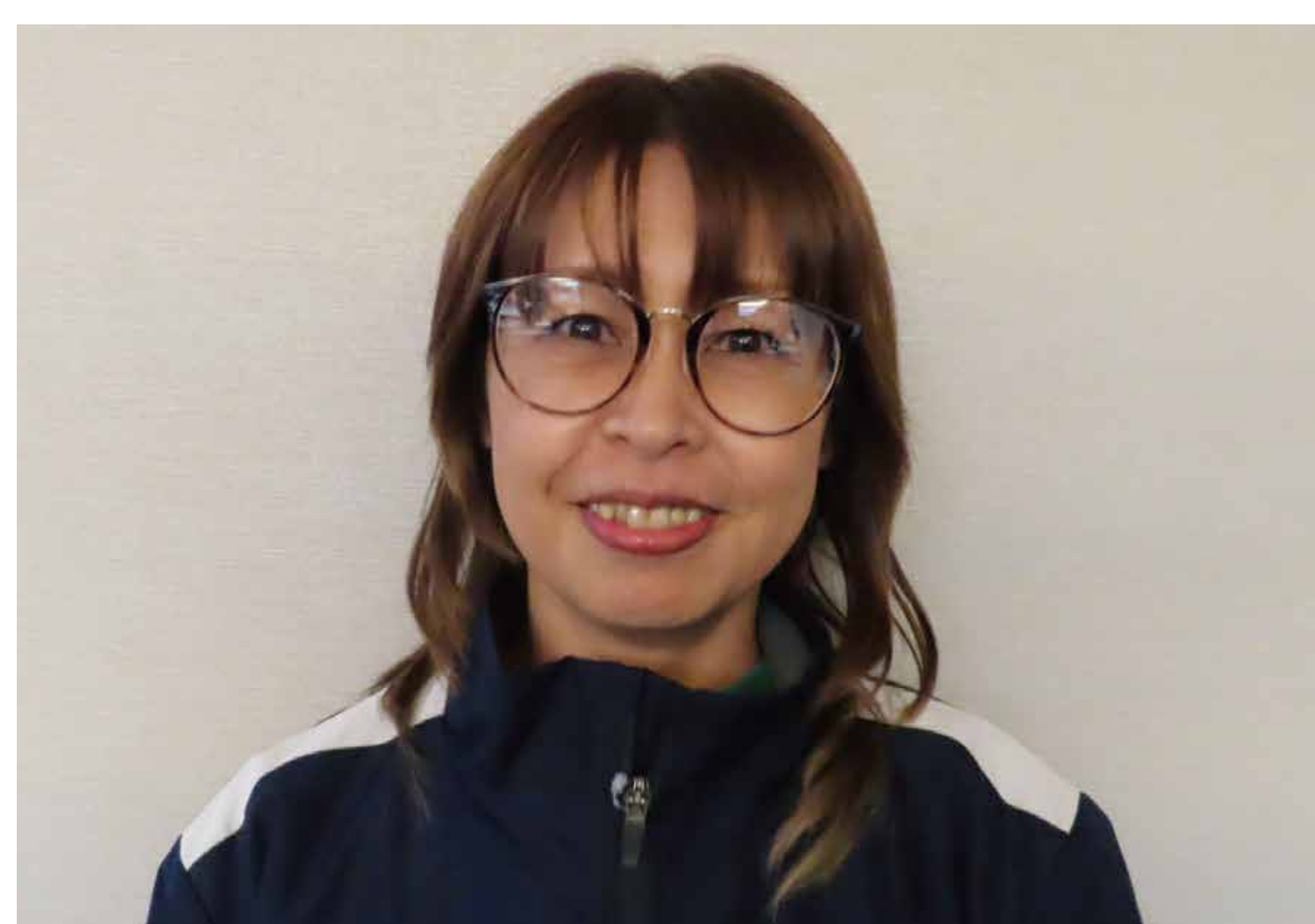
(やまもと まさのり)

■過去の実績

2023年 第57回全国ろうあ者体育大会(福井)
男子個人戦 優勝

■見どころや意気込み

高校生からボウリング始めました。もう21年目になりました。第57回全国ろうあ者体育大会において九州勢では、初優勝することが出来ました。デフリンピックに向けて強化合宿で更に練習を重ねレベルアップをするように頑張っていきます。東京デフリンピックへの出場を目指して頑張っていきたい。皆さん、応援を宜しくお願いします。



北川 晴子 選手

(きたがわ はるこ)

■過去の実績

2023年 第2回全日本デフボウリング選手権大会(愛知)
女子個人戦 優勝
2023年 第5回世界デフボウリング選手権大会(ドイツ)
女子トリオ戦 5位入賞

■見どころや意気込み

日本代表として、今まで磨いてきた実力を発揮できるようチーム一丸となって戦い抜きたいと思います。精一杯がんばります!応援よろしくお願ひいたします。

一般社団法人日本デフボウリング協会

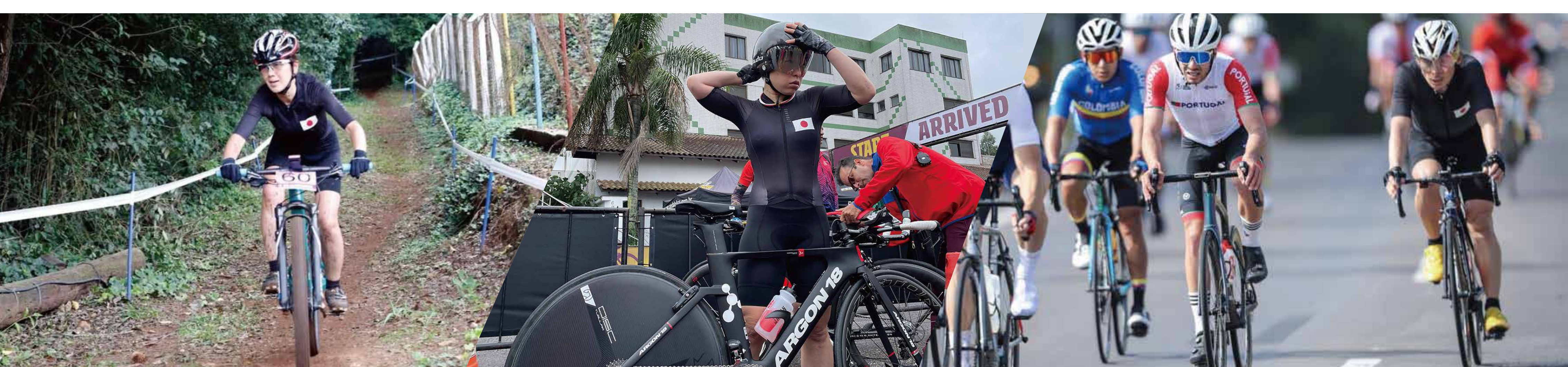


公式
ホームページ



公式
Facebook

デフリンピック競技 「自転車」



競技紹介

《ロード》

- ・定められた距離の舗装路で、軽量化されたロード専用自転車にて着順または走破タイムを競う競技。
- ・走行ラインや危険な箇所、勝負所をリサーチするため、試走日がある。
- ・デフリンピックでは短い距離を1対1で勝負するスプリント、集団で短い周回コースを走りポイント獲得周回で得たポイントで勝負を決めるポイントレース、1人ずつ走ってタイムを競うタイムトライアル、集団で長い周回コースを走り着順で勝負を決めるロードレースの4種目が行われてきた。

《マウンテンバイク》

- ・丘や山など未舗装の道を、マウンテンバイクで周回する競技。
- ・自然の中であらゆる状況を想定したラインどりが重要なため試走が特に重要。
- ・デフリンピックではクロスカンントリーオリンピック（XCO）の種目が行われてきた。



選手紹介



■ 簀原 由加利 選手（ロード）
（みのはら ゆかり）

■過去の実績

- 2013 第22回夏季デフリンピック競技大会ロード競技出場
- 2017 第23回夏季デフリンピック競技大会ロード競技
 - ・Cycling Road individual time trial (Women) 銅メダル
- 2021 第24回夏季デフリンピック競技大会ロード競技
 - ・Cycling Road individual time trial (Women) 銅メダル
 - ・Cycling Road individual road race (Women) 銅メダル
 - ・Cycling Road points race (Women) 銅メダル

デフリンピックバスケットボール元日本代表選手で自転車競技に転向。サムスン2017デフリンピックで見事に銅メダルに輝き、カシヤスドル2021デフリンピック（コロナ禍のため2022年に延期）では3種目で銅メダル獲得という快挙を成し遂げた。トラック競技にも取り組んでいる。

■見どころや意気込み

前は銅メダル3個獲りましたが、東京2025デフリンピックこそは銀メダル以上！リベンジ！自分の力を発揮できるように鍛え続けていきます。自分だけではなくチームでメダルや入賞を獲得して次世代につないでいきたいです。



■ 早瀬 憲太郎 選手（ロード）
（はやせ けんたろう）

■過去の実績

- 2013 第22回夏季デフリンピック競技大会ロード競技出場
- 2015 第8回アジア太平洋ろう者競技大会ロード競技
 - ・Cycling Road 1000m sprint (Men) 2位
 - ・Cycling Road individual time trial (Men) 銅メダル
 - ・Cycling Road individual road race (Men) 銀メダル
 - ・Cycling Road points race (Men) 金メダル
- 2016 第4回デフ・ツール・ド・台湾
 - ・個人総合 2位 / チーム総合 2位
- 2017 第23回夏季デフリンピック競技大会ロード競技出場
- 2021 第24回夏季デフリンピック競技大会ロード競技出場

映画監督でもあり、デフリンピックの現役アスリートとしての経験を活かしリオ2016パラリンピックからパリ2024オリンピック・パリ2024パラリンピックまでNHKユニバーサル放送に出演中。また様々な競技の手話実況者として活躍中。

■見どころや意気込み

100年目のデフリンピックは共生社会の縮図。私たちにとってここがゴールではなくこの先始まる100年に向けてのスタート。私たちは新しい価値を皆さんと一緒に創造すべく走り続けます！



■ 早瀬 久美 選手（マウンテンバイク / ロード）
（はやせ くみ）

■過去の実績

- 2013 第22回夏季デフリンピック競技大会マウンテン競技
 - ・Mountain Bike cross-country (Women) 銅メダル
- 2017 第23回夏季デフリンピック競技大会ロード競技出場
第23回夏季デフリンピック競技大会マウンテン競技
 - ・Mountain Bike cross-country (Women) 銅メダル
- 2021 第24回夏季デフリンピック競技大会ロード競技出場
第24回夏季デフリンピック競技大会マウンテン競技
 - ・Mountain Bike cross-country (Women) 銀メダル

デフリンピック3大会連続メダル獲得。カシヤスドル2021デフリンピックでは、日本選手団主将を務めた。また、スポーツファーマシストとして台北2009デフリンピックより夏季冬季合わせて8大会の日本選手団の医薬品を担当、パラリンピックおよびデフリンピックの医科学委員会の委員としてアンチ・ドーピングに取り組んでいる。

■見どころや意気込み

薬剤師としてデフアスリートとして日本で開催されるデフリンピックがクリーンでありフェアであり観る人全てを魅了し社会を大きく変える無限大の可能性を持っていることを世界に発信していきたいです。



一般社団法人日本ろう自転車競技協会



公式
ホームページ



公式
Instagram



公式
Facebook

デフリンピック競技 「サッカー」



競技紹介

- ・1チーム11人ずつで、ボールを相手ゴールに入れて点数を競う競技。
- ・試合時間は前後半45分ずつの計90分、ハーフタイムは15分。
- ・審判はフラッグと笛を使用する。

選手紹介



松元 卓巳 選手

(まつもと たくみ)

■過去の実績

夏季デフリンピックに2009年、2013年、2017年と3大会連続出場(2022年カシヤスドルデフリンピックはコロナ禍の為予選辞退)

2023年世界ろう者サッカー選手権大会主将として史上初の決勝進出。銀メダル獲得及び優秀GK賞を受賞

2024年アジア太平洋ろう者競技大会で12年振りの優勝(主将)

■見どころや意気込み

コロナ禍で5年間国際大会から離れていました。その間積み上げられることを行いました。また、選手それぞれが自分自身のスキルなどの向上を行い、その後の大会では全て決勝進出という結果に繋がっています。チームの為にやり切る。個の力も飛躍的に向上しチーム力が上がっている今、『世界一になる』という目標は現実的となってます!是非、福島の地で皆様も応援というもので我々と一緒に戦ってください!必ず世界一になります!



古島 啓太 選手

(ふるしま けいた)

■過去の実績

2012年アジア太平洋ろう者競技大会からデビューし、2013年ソフィアデフリンピック、2017年サムスンデフリンピックの2度のデフリンピックに出場

2023年世界ろう者サッカー選手権大会にて史上初の決勝進出し、銀メダルを獲得

2024年アジア太平洋ろう者競技大会にて12年振りの優勝

■見どころや意気込み

小さい時から夢に見ていた日本代表のユニフォームが現実に。昔は、メーカーがバラバラでした。A代表と同じ青色のユニフォームに統一してほしい、と活動をし、2023年からようやくA代表と同じユニフォームを着用することになりました。JFAのエンブレム・日の丸の重みを背負って戦うことで、世界2位、アジア1位の好成績を残している。残すべき目標はデフリンピックでの優勝。必ずてっぺんを獲得しますので、日本一丸となりユニフォームを着て盛り上げていきましょう。皆さんの応援が僕たちのパワーになります。そして新しい景色を僕たちと一緒に作っていきましょう。



伊東 美和 選手

(いとう みわ)

■過去の実績

2023年世界ろう者サッカー選手権大会5位(主将)

■見どころや意気込み

新体制となり新たなメンバーも増えサッカーのレベルも今まで以上に上がったと思います。オーストラリア遠征でも勝ち切ることができ一人一人の良さが少しずつ出てきています。その

良さをチームの強みにしていく為に、まだまだチームとしても個人としてもやるべきことは沢山あります。チームとしてより強固なものにしていけるよう、一人一人が自分に矢印を向け日々努力していきます!ぜひ福島に来て応援してください!!一緒に戦いましょう!必ず優勝します!

一般社団法人日本ろう者サッカー協会



公式
ホームページ



公式
Instagram



公式X



公式
Facebook

デフリンピック競技 「ゴルフ」



競技紹介

- ・ボールをホールに入れるまでの合計の打数の少なさを競う競技。
- ・1ラウンド18ホールで構成され、選手は4ラウンド72ホールをプレー。
- ・落雷の危険性などによりプレーを中断する場合や再開時は「警笛」等の音で合図するが、デフゴルフでは「旗」を用いて視覚的に伝える。



選手紹介



岩崎 善徳 選手

(いわさき よしのり)

■ベストスコア：65

■過去の実績

2021年日本デフゴルフ選手権優勝
2022年世界デフゴルフ選手権18位

■見どころや意気込み

デフゴルフでは初のアスリート社員(三建設備工業株式会社所属)としてデフリンピック認知度を高める様々な活動に取り組んでいます。東京2025デフリンピックメダル入賞を目指します。



袖山 哲朗 選手

(そでやま てつろう)

■ベストスコア：67

■過去の実績

2022年世界デフゴルフ選手権10位
2023年報知アマゴルフ選手権33位

■見どころや意気込み

世界基準のゴルフで世界一を目指して頑張ります!日本デフゴルフ界だけでなく日本ゴルフ界も盛り上げていく活動をしていきたいと思います。応援よろしくお願いいたします。



前島 博之 選手

(まえじま ひろゆき)

■ベストスコア：63

■過去の実績

2023年日本デフゴルフ選手権準優勝
2024年世界デフゴルフ選手権6位

■見どころや意気込み

東京2025デフリンピック出場&世界一を目指して練習を頑張っています。またデフゴルフを広めていきたいと思います。応援よろしくお願いいたします。



NPO法人デフゴルフ協会



公式
ホームページ



公式
Instagram



公式
Facebook

デフリンピック競技 「ハンドボール」



©JHA/YUKIHI TO TAGUCHI

競技紹介

- ・1チーム7人ずつで、ボールを手で扱ってコートの相手ゴールへと投げ入れ、得点を競う競技。
- ・試合時間は前後半各30分の計60分。
- ・デフハンドボールでは、フラッシュライトやフラッグは使わず、きこえる人と同様、レフェリーのハンドジェスチャーによって選手に合図を送る。

選手紹介



小林優太 選手

(こばやし ゆうた)

■アピールポイント

身長192cmの絶対的エース。キャプテンとしてチームを率いる。

■見どころや意気込み

球技の格闘技とも言われているハンドボールでは、激しいプレーの連続でありながら爽快感のある試合を楽しむことができます。

デフリンピックでは日本初の代表チームとして一つひとつの試合で結果を残し、デフハンドボール界のみならずデフスポーツを盛り上げられるよう貢献していきたいです。



翁 孝嘉 選手

(おきな たかよし)

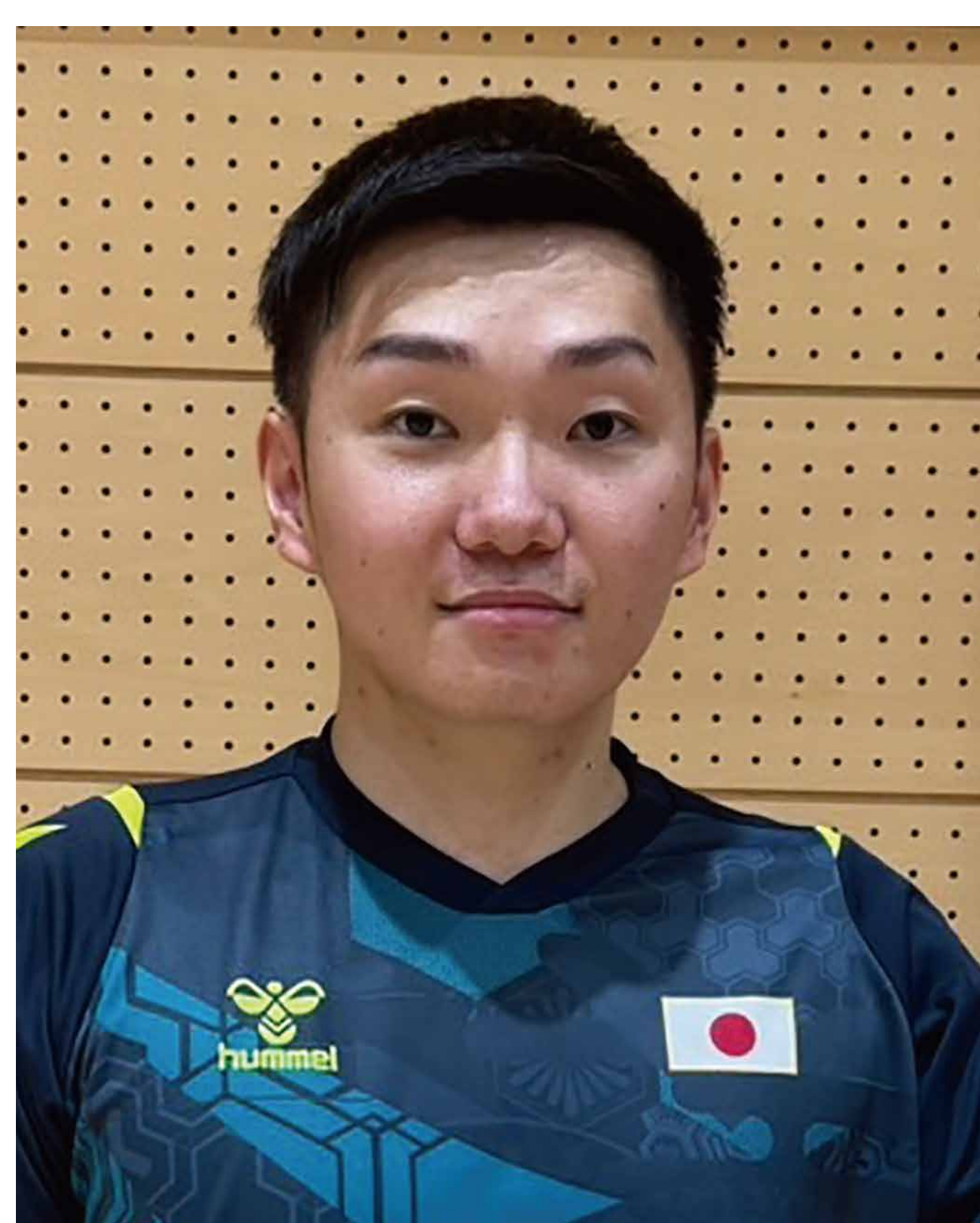
■アピールポイント

野球で培った身体能力はチームNo.1。攻守のかなめ。

■見どころや意気込み

ハンドボールの魅力は、激しくダイナミックなプレーです。強靱なフィジカルだけでなく、走る、投げる、跳ぶなど運動能力全般が求められる奥深い競技です。

東京2025デフリンピックまでには、外国人選手に引けを取らない体づくりを行い、チームメイトと一緒にハンドボール設立後の初勝利とメダル獲得を目指したい。



水嶋貴一 選手

(みずしま きいち)

■アピールポイント

チームの守護神としてゴールを守る。経験豊富な強気のGK。

■見どころや意気込み

コートに立つ全員が目を合わせながら得点を奪ったり、息が合ったDFで点を取られないようにするその光景はデフハンドボールならではの光景だと思います。デフリンピック出場は中学3年生からの夢でした。日本チームは初出場初メダル獲得を目指して日々練習に励んでいるので是非とも会場に足を運んで応援していただければと思います。

(公財)日本ハンドボール協会デフハンドボール専門委員会



公式
ホームページ

デフリンピック競技 「柔道」



競技紹介

- ・二人の選手が畳の上で互いに組み合って戦う競技。
- ・どちらかの選手のきめた技が要件を満たす場合に「一本」となり、「一本」をとった選手が勝利して試合終了。
- ・きこえる人と同じ国際ルールで実施。違いは、「始め」「待て」等の審判の指示が上手く伝わらないときは、選手の肩を叩いて知らせること。

選手紹介



佐藤 正樹 選手

(さとう まさき)

過去の実績

2015年 アジア太平洋ろう者競技大会(台湾) 金メダル
2019年 アジア太平洋ろう者競技大会(香港) 日本代表選出
2021年 世界ろう者柔道選手権大会(フランス) 銀メダル
2022年 夏季デフリンピック競技大会(ブラジル) 5位入賞
2024年 世界ろう者柔道選手権大会(カザフスタン) 金メダル

見どころや意気込み

デフ柔道は、監督席や観客席からの指示や声援がきこえない静寂な状況で、研ぎ澄まされた集中力で競技する姿や、技のタイミングが合ったとき、豪快に決まるという見どころがある。私自身が金メダルを獲得して、手話が素晴らしいという魅力や、きこえない子どもたちやご家族に夢や希望を与えられるように頑張りたい。



蒲生 和麻 選手

(がもう かずま)

過去の実績

2021年 世界ろう者柔道選手権大会(フランス) 銀メダル
2022年 夏季デフリンピック競技大会(ブラジル) 5位入賞
2024年 世界ろう者柔道選手権大会(カザフスタン) 銅メダル

見どころや意気込み

デフ柔道は、審判が「始め」や「待て」と指示する場合は直接、選手に触れることで試合が成り立ちます。またお互いが無音の世界で真剣勝負する中、一瞬の隙を突いて豪快に一本を取ることで観客を魅了させるところがデフ柔道の見どころです。東京2025デフリンピックでは一戦ずつ集中し、周りの応援に応えられるような試合をしますので期待してください!



高橋 朋希 選手

(たかはし ともき)

過去の実績

2023年 アジアろう者柔道選手権大会(キルギス) 銅メダル
2024年 世界ろう者柔道選手権大会(カザフスタン) 銅メダル

見どころや意気込み

2024年の世界大会で初めて-100kg級に挑戦し準決勝まで行きましたが(2023年までは-90kg級)、自分の体格と相手の体格が違い、力も強く何も出来ず、負けました。何が足りなくて勝てなかったのか、何が必要なのか、課題だらけでした。負けた事としっかり向き合い、自分自身を表現出来る様に精進していきます。応援、サポートしてくださる皆様に、次こそ良い結果を届けられるように頑張ります。

一般社団法人日本ろう者柔道協会



公式
ホームページ



公式
Instagram

デフリンピック競技 「空手」



競技紹介

形

- ・ 仮想の敵に対する攻撃技と防御技を一連の流れとして組み合わせた演武。
- ・ 立ち位置や技の完成度、スピードやキレなどを重視し、姿勢の美しさも含め判定される。

組手

- ・ コートの中で、2人の選手が1対1で戦う。
- ・ 突き・受け・蹴りの技を使い、試合時間の間でポイントを取り合う。



選手紹介



小倉 涼 選手

(おぐら りょう)

■過去の実績

第24回夏季デフリンピック競技大会
金メダル(個人女子形&個人女子組手)

■見どころや意気込み

デフ空手の魅力は、目で得られる情報の中だけで、相手との瞬間的な駆け引きができる「組手」、自分との戦いの中で、力強さや美しさを追求し、高みを目指す「形」の2つの競技を楽しめるところにあります。誰よりもデフ空手を楽しみ、東京2025デフリンピックでの優勝を目指して日々励んでいます!応援よろしくお願いいたします!



森 健司 選手

(もり けんじ)

■過去の実績

第24回夏季デフリンピック競技大会
銅メダル(個人男子形)

■見どころや意気込み

デフ空手は、手話表現を織り交ぜつつきこえる人とほとんど同じルールで行われます。選手だけでなく、外から見ている人たちにまで分かるような視覚的な工夫があります。わたしたちは金メダル獲得、上位入賞を達成できるように、毎月行われる強化合宿で着実に力を伸ばしています。感謝と自信を大事にして勝ちに行きます。



女子団体形チーム

・森永うらら 選手

(もりなが うらら)

・森こころ 選手

(もり こころ)

・金子陽音 選手

(かねこ はるね)

・湯澤葵 選手

(ゆざわ あおい)

■過去の実績

第7回JDKF.空手道競技大会 金メダル(団体形)

■見どころや意気込み

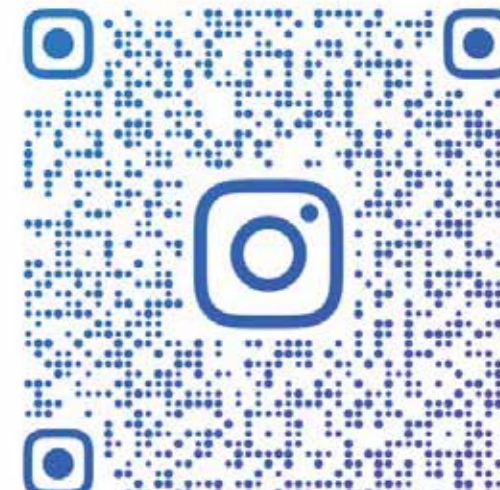
個人と違い3人で演じます。形の美しさや突きと蹴りの迫力も惹かれますが息があった演武は見どころです。更に決勝戦では分解というアクロバティックな演武が行われます。人が飛んだり投げられたり…とにかく一番盛り上がるころだと思います!私たちは優勝を目指して頑張ります!応援よろしくお願いいたします。



一般社団法人全日本ろう者空手道連盟



公式
ホームページ



公式
Instagram

デフリンピック競技 「オリエンテーリング」



競技紹介

- ・地図とコンパスを活用して、山野に設置されたコントロール(チェックポイント)を順番に通過してゴールに着くまでの「速さ」を競う競技。
- ・道なき山野の地図を読むことで自らの力で進路選択する決定力・判断力、荒野や湿地等を走る身体的能力がトータルに要求される。

選手紹介



辻 悠佳 選手

(つじ ゆか)

■過去の実績

第12回全日本選手権大会 ミドル W21AS 優勝
第50回全日本選手権大会 ロング W21AS 3位
第16回全日本選手権大会 スプリント W30A 2位

■見どころや意気込み

デフオリエンテーリングでは、自然界で発する音、例えば、草木の葉の擦れ音、人が走る音がきこえません。観戦では、テレビン(競技を行う場所)内の選手の動きを見ながら、一緒に競技をしているかのように体感することができます。息をすることを忘れるぐらい、スピード感のある熱いレースをぜひ楽しんでください!



堤 大揮 選手

(つつみ たいき)

■過去の実績

第13回全日本選手権大会 ミドル M35A 2位
第51回全日本選手権大会 ロング M35A 優勝

■見どころや意気込み

早い者が勝つのか!?ミスをしないう者が勝つのか!?結果は蓋を開けてみないと分からないが、両方とも突き詰めていかなければなりません。私はどちらかというとスピードが足りないなので、走力を強化していきたいと思います。正確性の方も経験不足からたまに大きなミスをしてしまうので、どんどん大会にエントリーして経験を積んでいきたいと思います!



丘村 彰敏 選手

(おかむら あきとし)

■過去の実績

第2回世界デフオリエンテーリング選手権出場

■見どころや意気込み

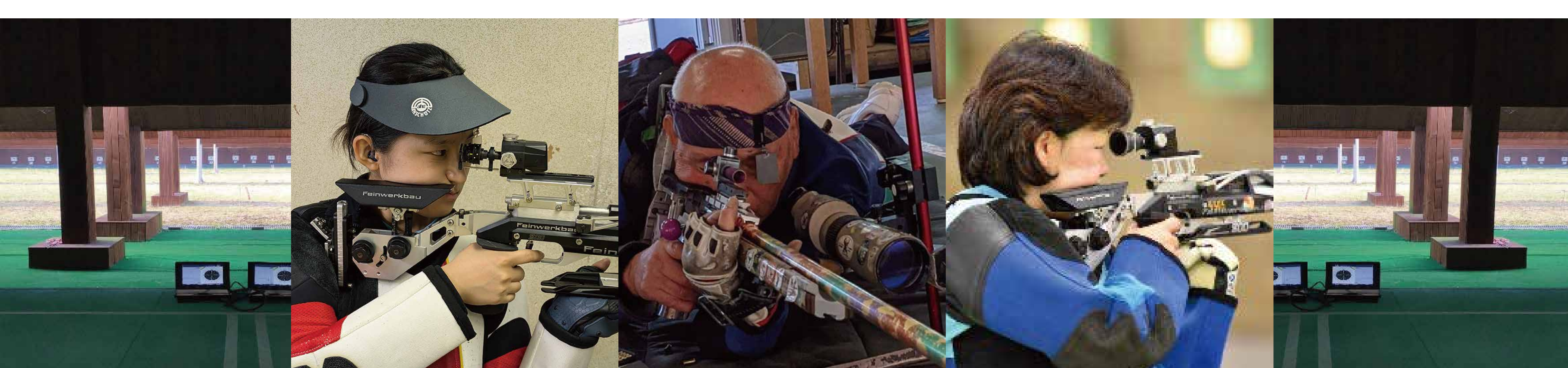
地図とコンパスを持って、森の中を駆け抜けるところに大きな魅力を感じます。時に鹿やイノシシを見かけることもありますし、同じ山でも四季によって様々な風景であることも魅力です。その大自然の中、コントロール(チェックポイント)にイメージ通りに辿り着けた時の達成感は大きいです。

日本デフオリエンテーリング協会



公式
ホームページ

デフリンピック競技 「射撃」



競技紹介

- ・ライフル射撃はライフル銃または拳銃を用いて、固定された標的に向けて制限時間内に決められた弾数を発射し、命中度を競う競技。
- ・標的までの距離、使う銃の種類、撃つ時の姿勢(立射(Standing)、膝射(Kneeling)、伏射(Prone))などで種目が分かれる。
- ・集中力と精神力が求められるメンタルスポーツ。

選手紹介



高桑 昭紀 選手

(たかくわ あきのり)

■過去の実績

ワールドマスターズのメルボルン大会、エドモントン大会、トリノ大会において、SB(スモールボアライフル)種目のP60(伏射60発)と3姿勢(各20発)で優勝。

■見どころや意気込み

メルボルン、エドモントン、トリノ、韓国や台湾など、様々な国で対戦してきました。この歳になってもデフリンピックへの参加資格がある事を聞き嬉しく思います。もちろん優勝を目指します!



桂 玲子 選手

(かつら れいこ)

■過去の実績

2012年～2023年の間で、ワールドマスターズ(イタリア)、アジアマスターズ(台湾)、アジア太平洋マスターズ(韓国)と歴戦し、金メダルをはじめ複数のメダルを獲得!

■見どころや意気込み

射撃の魅力は、張り詰めた緊張感と命中した時の爽快感。自分の集中力を保ち続ける精神力が必要です。生涯楽しめるスポーツなのでこれからも心身ともに鍛えます。



柳田 かれん 選手

(やなぎた かれん)

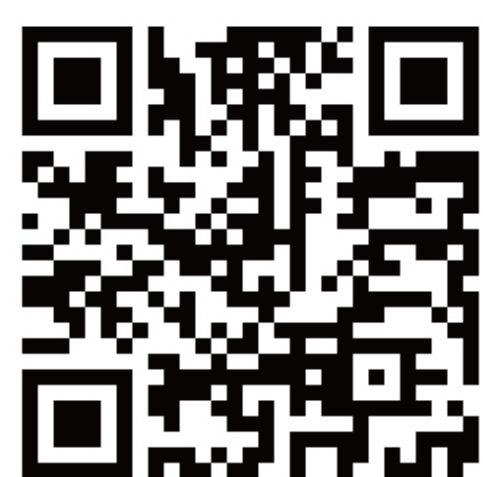
■過去の実績

ライフル射撃を始めて一年半。デフリンピックに向けて猛特訓中。

■見どころや意気込み

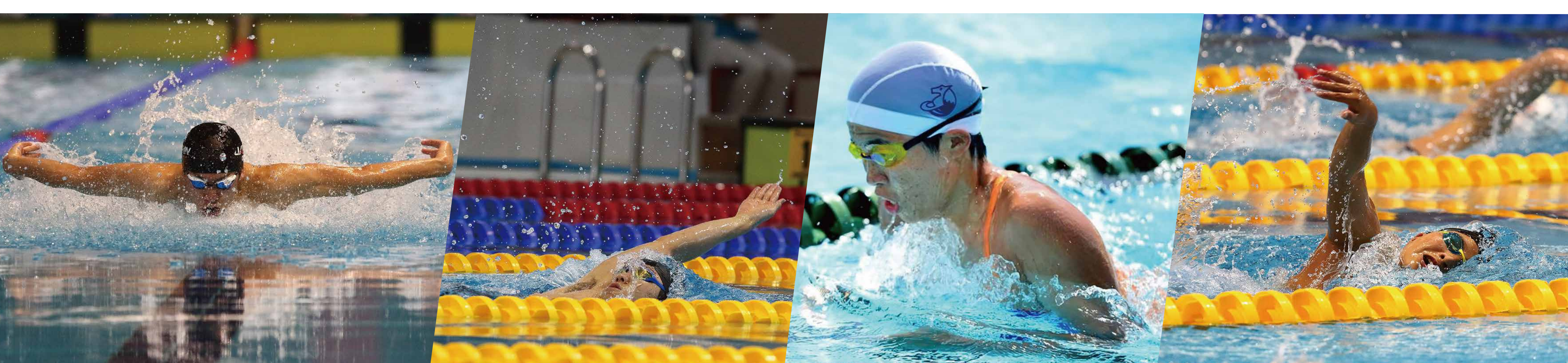
射撃は対戦相手がいる競技と違って、自分との闘いです。聴力が勝負に影響しない数少ない競技だと思います。難聴やろうの子どもたちが標的射撃を知る機会を増やせるよう、デフリンピックで活躍したいです。

日本ろう者ライフル射撃協会



公式
ホームページ

デフリンピック競技 「水泳」



競技紹介

- ・デフリンピックで行われる水泳は競泳のみ。
- ・競泳は、一定の距離を決められた泳法(自由形、背泳ぎ、バタフライ、平泳ぎ)で泳いでタイムを競う競技。

選手紹介



茨 隆太郎 選手

(いばら りゅうたろう)

■過去の実績

夏季デフリンピックに2009年から4大会連続出場。2022年ブラジル大会では日本選手団主将として7種目に出場し、4個の金メダル、3個の銀メダルを獲得、デフアスリートにとって最も誉れ高いICSD(国際ろう者スポーツ委員会)スポーツマン賞を受賞。

■見どころや意気込み

私の専門種目である『個人メドレー』は、1人で4泳法を「バタフライ→背泳ぎ→平泳ぎ→自由形」の順番で泳ぎます。デフアスリートによって得意種目が異なるので、泳法が切り替わるたびに順位が変動することもあり、手に汗握るスリリングなレース展開を楽しめるのが、この種目の見所です。国民の皆様がワクワクするような泳ぎができるように全力を尽くします!



金持 義和 選手

(かなじ よしかず)

■過去の実績

2013年 50m背泳ぎ 金メダル 100m背泳ぎ 銀メダル 200m背泳ぎ 銀メダル
2017年 50m背泳ぎ 銅メダル 100m背泳ぎ 銀メダル 200m背泳ぎ 銀メダル
4×100mメドレーリレー 銀メダル 4×100mフリーリレー 銅メダル
4×200mフリーリレー 銀メダル 4×100m男女ミックスメドレーリレー銅メダル
2022年 4×100mメドレーリレー 銀メダル 4×100mフリーリレー 銀メダル
100m背泳ぎ 4位入賞 200m背泳ぎ 4位入賞

■見どころや意気込み

デフ水泳はスタートランプを用いて一斉にスタートするところが見どころです。1分1秒を競うレースの中でそれぞれがゴールタッチまで最高のパフォーマンスを発揮し、個人では自分との戦いで、プレッシャーに打ち勝っていくことと、リレーではチームメンバーを信じ、ベストタイムを繋げていきます。そしてみなさんの声援で盛り上がりますので、応援よろしくお願いします。



齋藤 京香 選手

(さいとう きょうか)

■過去の実績

2017年 女子400m自由形 4位入賞
2022年 女子100mバタフライ 金メダル

■見どころや意気込み

全国各々の地域で、きこえる人と共に練習を重ねている仲間達が集結します!特に混合リレーは、最後までどの国が勝つか分からないハラハラドキドキのレースが展開されます。そこでしか発揮されない団結力も見所の1つです。自己ベスト更新とメダル獲得を目指して、全力で泳ぎ抜きます!皆さん、応援よろしくお願いします!

一般社団法人日本デフ水泳協会



公式
ホームページ



公式
Instagram



公式
Facebook

デフリンピック競技 「卓球」



競技紹介

- ・ラケットを使ってテーブル上のネット越しにボールを打ち合い、得点を競う競技。
- ・1ゲーム11ポイントのラリーポイント制。
- ・10対10になったときは、2ポイント差がつくまで試合が続行される。

選手紹介



山田 萌心 選手 (やまだ もえみ)

過去の実績

2022年 第24回夏季デフリンピック(ブラジル) 女子団体戦 準優勝
2023年 第4回世界ろう者卓球選手権大会(台湾) 女子団体戦 優勝、女子ダブルス 準優勝

見どころや意気込み

東京デフリンピックでは、2023年世界ろう者卓球選手権大会の団体優勝メンバーで金メダル獲得を目指します。団体戦ではお互いを信じて戦い、ダブルスではパートナーとの息の合ったラリーの展開、シングルスでは自分の得意とする、ラリーからの一撃必殺のフォアスマッシュで勝ちを掴みにいきます。今までの練習の成果を発揮し悔いの残らないよう全力で頑張りますので、メダルを掴む瞬間を見にきてください。応援よろしくお願いします!



亀澤 里穂 選手 (かめざわ りほ)

過去の実績

2009年 第21回夏季デフリンピック(台湾) 女子団体戦 準優勝、シングルス 3位
2013年 第22回夏季デフリンピック(ブルガリア) 女子団体戦 3位、女子ダブルス 準優勝
2017年 第23回夏季デフリンピック(トルコ) 女子団体戦 3位、女子ダブルス 3位
2022年 第24回夏季デフリンピック(ブラジル) 女子団体戦 準優勝、女子ダブルス 3位

見どころや意気込み

デフ卓球は、ルールは一般の卓球と同じです。ただ補聴器をつけることが禁止とされているので、回転の音や当たる音など沢山の音が聞こえない代わりに、目と身体のリズムで対応しながら戦うところが魅力の一つです。デフリンピックでは必ず金メダルを獲得し、勇気や感動を与えられるように頑張ります。デフ卓球だけではなくデフスポーツ全体の応援をしてください!



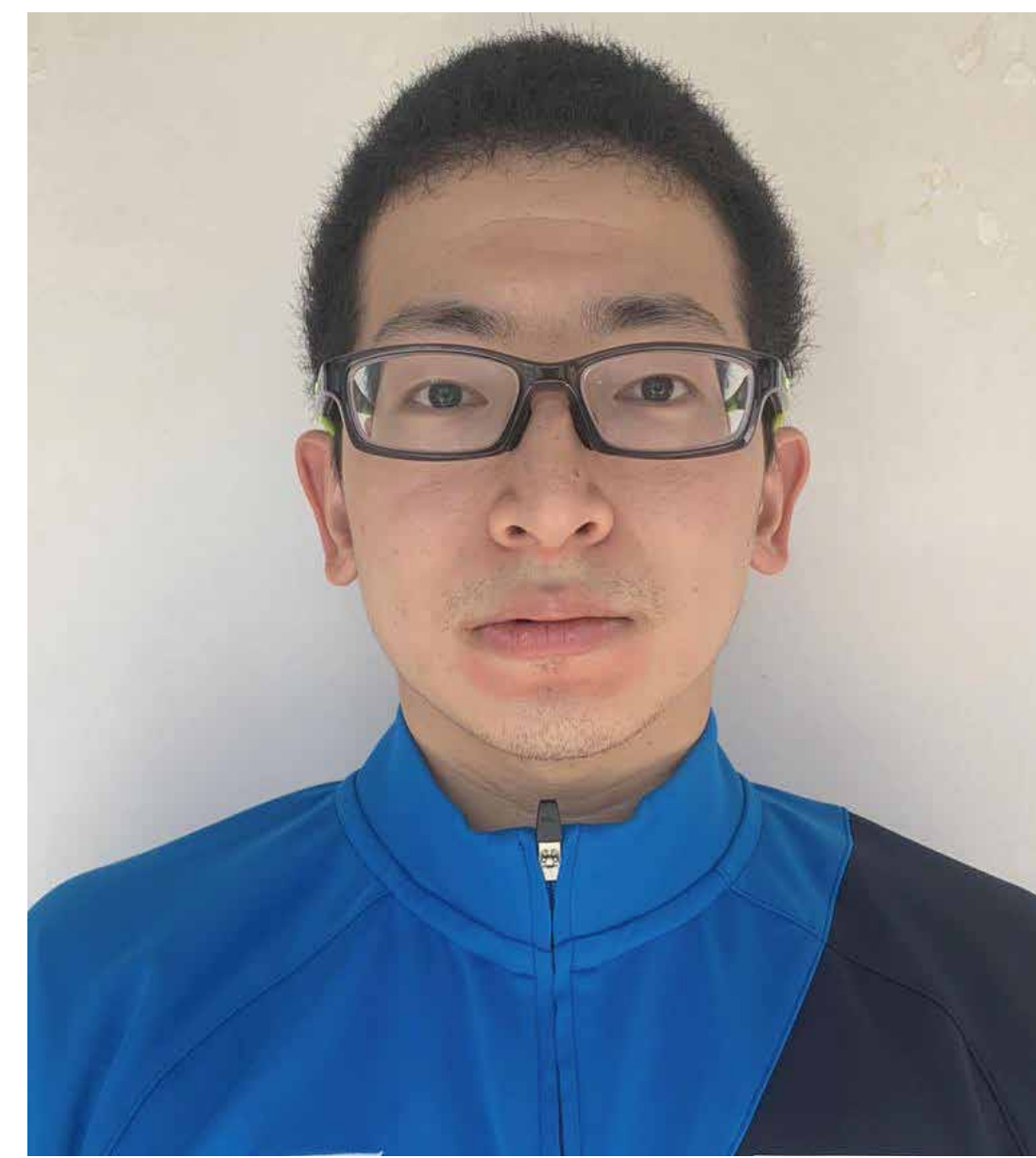
川口 攻人 選手 (かわぐち こうと)

過去の実績

2022年 第24回夏季デフリンピック(ブラジル) 男子団体戦 3位
2023年 第4回世界ろう者卓球選手権大会(台湾) 男子団体戦 3位
2024年 第58回全国ろうあ者体育大会(群馬) シングルス 優勝
2024年 第47回全国ろうあ者卓球選手権大会(東京) シングルス 優勝

見どころや意気込み

卓球は音が重要と言われてますが、聞こえないからこそ、視覚や感覚を最大限に活かしてプレーしている姿を是非見てください!応援よろしくお願いします。



伊藤 ゆうき 選手 (いとう ゆうき)

過去の実績

2015年 第8回アジア太平洋ろう者競技大会(台湾) 男子団体戦 3位
2023年 第4回世界ろう者卓球選手権大会(台湾) 男子団体戦 3位

見どころや意気込み

サーブミスをしたくないことを意識するのが大切です。チームメンバーを信じて頑張っていきたいです。私はデフリンピックに参加するのは初めてですが、全力でメダル獲得を目指します。デフリンピックの舞台で持てる力を発揮できるように、がんばります!皆さん、応援よろしくお願いします。

一般社団法人日本ろうあ者卓球協会



公式
ホームページ



公式
Instagram



公式X



公式
Facebook

デフリンピック競技 「テコンドー」



競技紹介

キョルギ(組手)

空手とキックボクシングをミックスしたようなスポーツ性の高いコンタクト制の格闘技で、特に足技を重視。頭部と胴体への蹴り、胴体へのパンチが認められる。

技の種類により決められたポイントをより多く獲得した選手が勝利する。

電子防具システムに設定された強度を超える強い打撃があった場合に得点が加算される。胴体への蹴りは2点、頭部への蹴りは3点、これらに回転を加えた蹴りと認められればテクニカルポイントとして2点が加算される。胴体へのパンチは1点。

プムセ(型)

テコンドーにおける各種防御と攻撃技術の組み合わせにより構成され、一定の演武(進行線)にしたがって、四方八方に動きながら型を行う。選手は8種類の型を習得しておき、直前に表示された2種類の型を演武して採点される。

大きく分けて「正確性」と「表現力」2つの採点基準があり、これらの合計点数によって順位が決定される。正確性とは技のかたち(下段か上段か等)、立ち方(足幅、角度等)を採点される。表現力とは技のキレ、パワー、スピード、エネルギーの発出などの観点から採点される。

選手紹介



星野 萌 選手 (ほしの もえ)

■過去の実績

第1回全日本デフプムセ選手権大会 優勝

■見どころや意気込み

テコンドーには、アニメや仮面ライダーのようなカッコいい蹴り技がたくさんあります。中でも柔軟性や正確性、そしてキレのある足技は、プムセの最大の魅力です。ろうの世界から初の選手として、一つひとつの技に魂を込めた演武で感動を届け、新たな挑戦を応援してくださる皆様の期待に応えられるよう努力していきます。

■コーチからのコメント

トライアウトから挑戦してデフプムセ選手となった星野選手には、せっかくのこの日本・東京で開催される本大会を最高のステージとできるように頑張ってください。上級のプムセを覚えること、筋力と柔軟性の向上など課題はたくさんあるが、世界には大げさではなく人生を賭けて挑戦してくる選手もいるので、日本代表としての誇りをもって臨んでほしいと思います。

一般社団法人全日本テコンドー協会



公式
ホームページ



公式
Facebook

デフリンピック競技 「テニス」



競技紹介

- ・ラケットを使ってネット越しにボールを打ち合い、得点を競う競技。
- ・1試合3セットマッチで行われ、2セット先取したほうが勝利。
- ・きこえる人のテニスでは、打球音でボールとの距離感をはかり体が反応するため、音は極めて重要。しかしデフテニスでは耳できくのではなく、目で相手が打つボールの行方を見ながら、身体を動作し始め、攻守に備える。

選手紹介



■ 菰方 里菜 選手

(こもかた りな)

■ 過去の実績

世界デフテニス大会2023 シングルス優勝
世界デフテニス大会2023 ダブルス優勝
世界デフテニス大会2023 ミックスダブルス3位
全豪オープン2024 デフテニス部門 シングルス優勝

■ 見どころや意気込み

初めてのデフリンピックになりますが、全力で戦い、周囲の人への感謝の気持ちを忘れずに、メダル獲得できるよう頑張っていきたいと思います。



■ 宮川 百合亜 選手

(みやがわ ゆりあ)

■ 過去の実績

世界デフテニス大会2023 シングルス準優勝
世界デフテニス大会2023 ダブルス準優勝
全豪オープン2024 デフテニス部門 シングルス準優勝
全豪オープン2024 デフテニス部門 ダブルス優勝

■ 見どころや意気込み

沢山のの人にいい結果が伝えられるようにメダル獲得を目指して頑張ります。応援よろしくお願いいたします。



■ 鈴木 梨子 選手

(すずき りこ)

■ 過去の実績

世界デフテニス大会2023 シングルス3位
世界デフテニス大会2023 ダブルス優勝

■ 見どころや意気込み

デフリンピックでの目標はメダルを獲得することです。今まで支えてくださった方に結果で恩返しができるよう、またデフリンピックの舞台にふさわしい良いプレーができるように全力を尽くします！

一般社団法人日本ろう者テニス協会



公式
ホームページ



公式
Instagram



公式
YouTube



公式
Facebook

デフリンピック競技 「バレーボール」



競技紹介

- ・ネットによって分けられたコートで、2つのチームがネット越しにボールを打ち合う競技。
- ・ボールを落とさずに、3回以内のタッチで相手コートに返球。
- ・1セット25点先取のラリーポイント制。

選手紹介



男子日本代表チーム



女子日本代表チーム



高橋竜一 選手

(たかはし りゅういち)

過去の実績

2008年デフバレー世界選手権
アルゼンチン大会 3位
2009年からデフリンピック4大会連続出場

見どころや意気込み

「デフバレーボール」は一般のバレーボールと同じルールで、高さやスピードをいかした激しい攻防が見どころのひとつです。私たちは周りの音が聞こえない、聞こえにくいので、手話を使ったりアイコンタクトで意思疎通を図ります。「勝ちと価値を追求し魅力あるチームになる」を合言葉に、お互いの良い所を最大限に引き出せるよう、出来ない理由から出来る理由を見つけ出し切磋琢磨しています。2025年東京デフリンピックで皆様に会える事を楽しみにしています！一緒に戦い熱くなりましょう!!



梅本 綾也華 選手

(うめもと あやか)

過去の実績

2022年第24回夏季デフリンピック競技
大会(ブラジル) ベスト4
2024年デフバレーボール世界選手権
沖縄大会 優勝

見どころや意気込み

練習を重ねていく毎に「アイコンタクト」が1番大事になって来ます。点を取った瞬間の喜びはチームも観客たちも一緒に盛り上がるので、試合ではそこにも注目していただけたらと思います。世界選手権に続いて金メダル獲得を目指して頑張りますので応援をよろしくお願いします!

一般社団法人日本デフバレーボール協会



男子公式
Instagram



女子公式
Instagram



公式
ホームページ

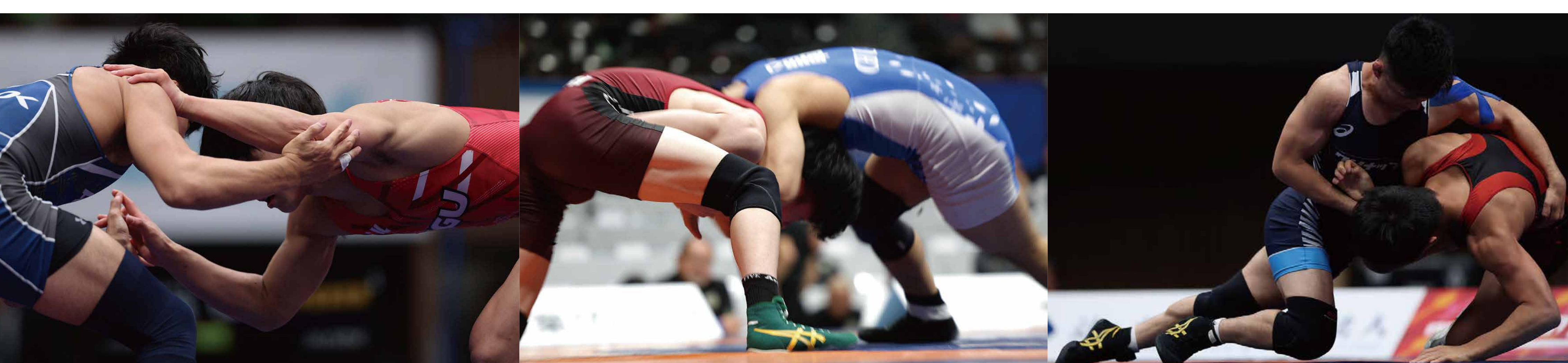


公式X



公式
Facebook

デフリンピック競技 「レスリング」



競技紹介

- ・2人の選手が互いに技を使って相手を組み伏せ、両肩をマットに押しつけること(フォール)や技が決まった時のポイントで勝敗を競う競技。

フリースタイル

相手選手の足を掴むこと、足を掛けること、自分の足を使い相手選手に技を仕掛けることが認められている。全身を攻撃と防御に使い、また、タックルで相手のバランスを崩しながら、ポイントを取っていく。

グレコローマン

相手選手のベルトラインから下の部位を掴むこと、足を掛けること、自分の足で相手選手に技を仕掛けることが禁止されている。上半身だけでどのように組み伏せ、または投げるのか、が見どころとなる。

選手紹介

- **曾我部 健** 選手 (そがべ けん)
- **三浦 桂吾** 選手 (みうら けいご)
- **久米田 忠裕** 選手 (くめだ ただひろ)
- **船川 真央** 選手 (ふながわ まお)
- **渡辺 健太** 選手 (わたなべ けんた)



(2025年1月25日合宿時写真より。左から、曾我部選手、三浦選手、久米田選手、船川選手)

■ 見どころや意気込み

きこえる人のレスリングと違いはありません。デフレスリングについても、ほぼ同じ体重の選手同士が、道具を持たず、衣服をつかむこともなく、体だけで技をかけあう競技です。ですから、純粋に自身のパワーとスピード、テクニックを競い合うことができることが面白く、やりがいがあります。障害のある子供たちが自分たちを見て、レスリングでもそれ以外のスポーツでも「始めてみたい」、また「やれるんだ」と感じてもらえるような機会になるといいなと思います。また子供たちだけでなく全ての人が自分たちをみて何か希望を見つけるきっかけになれば嬉しいです。

■ チームスタッフからのコメント

当チームは、学生その他、東京2025デフリンピックをきっかけに競技を再開した選手もおりますが、ここ半年間の日々のトレーニングや強化合宿を通じて、全員ともに、技術とモチベーションが急上昇し、それが今も続いています。デフリンピックのレスリングはかなりレベルが高いのですが、選手たちがよく口にする「レスリングが楽しい」という気持ちがそのまま強さに変わっているのではないかと感じています。それが応援してくださるみなさんにも伝われば嬉しく思います。

公益財団法人日本レスリング協会



公式
ホームページ